

自治の精神を涵養し、心豊かな大学生活を

濱 一 里 土 異 籍 主 筆

生物生産学部長 角 田 俊 平

冬の寒さをしのいで、一斉に花開く4月、新入生の諸君を迎えて喜ばしい限りです。諸君は、高校生活を終え、大学での生活に大きな期待を寄せ、希望を抱いて、いま広島大学の門をくぐったことと思います。また諸君は、自らの適性と社会のすう勢を押し量って専門を選び、将来の志望を定めて本学部の学生となり、知的探求による創造的な自己の確立を目指していることと思います。それ故に、諸君が充実した大学生活のなかで、全人的に成長し、個性豊かな人物となって飛躍されることを願っております。激動する昨今の社会において、信頼に足る人物としての器量は、これからの大学生活のなかで培われるものです。初心を忘れることなく、途中で挫折することなく、これからの大学生活を主体的に、積極的に過ごされるよう祈っております。大学は自主的に勉強し、知性を磨く場であるとともに、主体的に行動し、自治の精神を養う格好の場でもあります。知性を磨くということは、必ずしも専門的な学問・知識のみを深めることではありません。もとより専門的な学問・知識の水準は高いほど、また技術の修得は広いほどよく、そのことは自らの生涯における活動を発展させ、社会に貢献する根源であります。しかし一方、歴史・文学、芸術などの教養が貧困では、知的探求心を欠き、創造性豊かな人間性を培うことは困難であります。また、世に処して人間への共感も理解も得られないでしょう。

大学には学生会、体育会、サークルなど、学生の自主性と自治を原理とする数多くのグループがあります。諸君は、これらの自治的集団へ積極的に参加することによって、多数の親友を得、自治のモラルを体得することができるでしょう。学生の情熱が知性とモラルを基盤として高揚するとき、大学の自治はさらに活性化されるものです。諸君が、自治の精神を抱き、自治活動に習熟することによって、エゴイズムがいかにかに愚かなものであるか、団結・連帯・協調がいかにかに貴重なものであるか、観念的な付和雷同がいかにかに空虚なことであるか、身近に感じ取ることができると思います。自治活動は青春のエネルギーを高揚させ、精神的な弾力性を強め、人間の尊厳と普遍性を自覚した連帯感の形成に役立つであります。21世紀を迎えるに当たっての緊急の課題は、地球規模での環境破壊の防止であり、食糧問題であって、今後、生物科学の役割が一層重要となります。生物生産学部は、生命現象のメカニズムを解明し、探求することによって、これを人間生活に役立てようとする学問の発展を目指しています。21世紀に向けて、このような緊急課題を解決するためには、生物科学の総力を結集する必要があり、諸君の若々しいエネルギーと柔軟な思考力を必要とします。諸君の英知と情熱に期待するところは極めて大であります。心豊かな、誇り多い大学生活であるよう心から願っています。